

2. 流域治水プロジェクトの拡充について

- 気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、河川の流域のあらゆる関係者が協働して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換。
- 治水計画を「気候変動による降雨量の増加などを考慮したもの」に見直し、集水域と河川区域のみならず、氾濫域も含めて一つの流域として捉え、地域の特性に応じ、①氾濫をできるだけ防ぐ、減らす対策、②被害対象を減少させるための対策、③被害の軽減、早期復旧・復興のための対策をハード・ソフト一体で多層的に進める。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大

[県・市、企業、住民]

雨水貯留浸透施設の整備、
ため池等の治水利用

集水域

流水の貯留

[国・県・市・利水者]

治水ダム建設・再生、
利水ダム等において貯留水を
事前に放流し洪水調節に活用

[国・県・市]

土地利用と一体となった遊水
機能の向上

河川区域

持続可能な河道の流下能力の維持・向上

[国・県・市]

河床掘削、引堤、砂防堰堤、
雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす

[国・県]

「粘り強い堤防」を目指した
堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導/ 住まい方の工夫

[県・市、企業、住民]

土地利用規制、誘導、移転促進、
不動産取引時の水害リスク情報提供、
金融による誘導の検討

氾濫域

浸水範囲を減らす

[国・県・市]

二線堤の整備、
自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実

[国・県]

水害リスク情報の空白地帯解消、
多段型水害リスク情報を発信

避難体制を強化する

[国・県・市]

長期予測の技術開発、
リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化

[企業、住民]

工場や建築物の浸水対策、
BCPの策定

住まい方の工夫

[企業、住民]

不動産取引時の水害リスク情報
提供、金融商品を通じた浸水対
策の促進

被災自治体の支援体制充実

[国・企業]

官民連携によるTEC-FORCEの
体制強化

氾濫水を早く排除する

[国・県・市等]

排水門等の整備、排水強化

構成員の拡充

- ✓ 河川の流域のあらゆる関係者が集まり流域治水を推進

【構成員の拡充】

- 国の機関
- 流域の各府県、市町村
- 民間企業、住民参画 など

各機関のプロジェクトの反映

- ✓ 構成機関の取り組みをプロジェクトに反映
- ✓ プロジェクトの拡充があれば、随時更新し、流域全体で安全度を向上

【流域治水プロジェクトの今後の取組方針】

- 河川整備の充実(河川整備計画の変更など)
- 他の協議会構成員の計画の充実

協議会立ち上げ時点から
構成員を随時追加

R3.8 淀川水系河川整備計画の変更
各府県、市町村の計画拡充

流域治水プロジェクトのさらなる充実

- グリーンインフラの取組
- 水害リスク情報の充実
- 取組状況の見える化

流域治水プロジェクトのさらなる推進を流域全体で推進

グリーンインフラとは、社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

国土形成計画（平成27年8月閣議決定）

● 自然環境の保全・復元などの自然再生



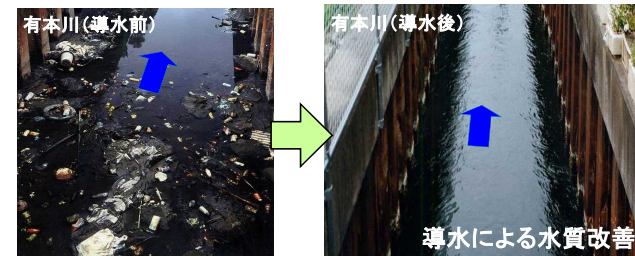
● 生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成



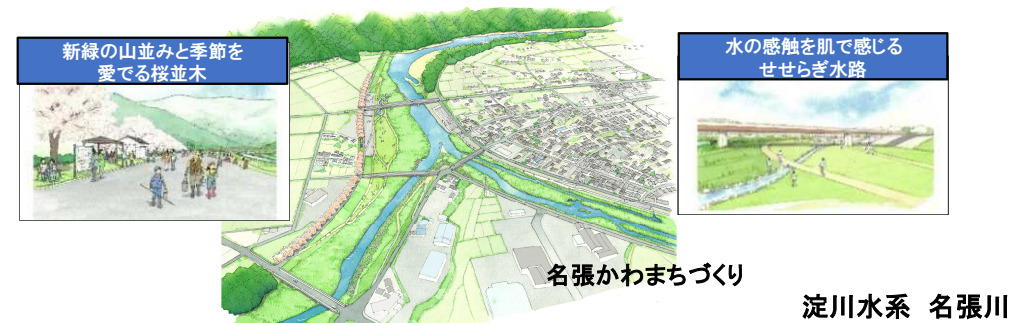
● 治水対策における多自然川づくり



● 健全な水循環系の回復



● 魅力ある水辺空間・賑わい創出

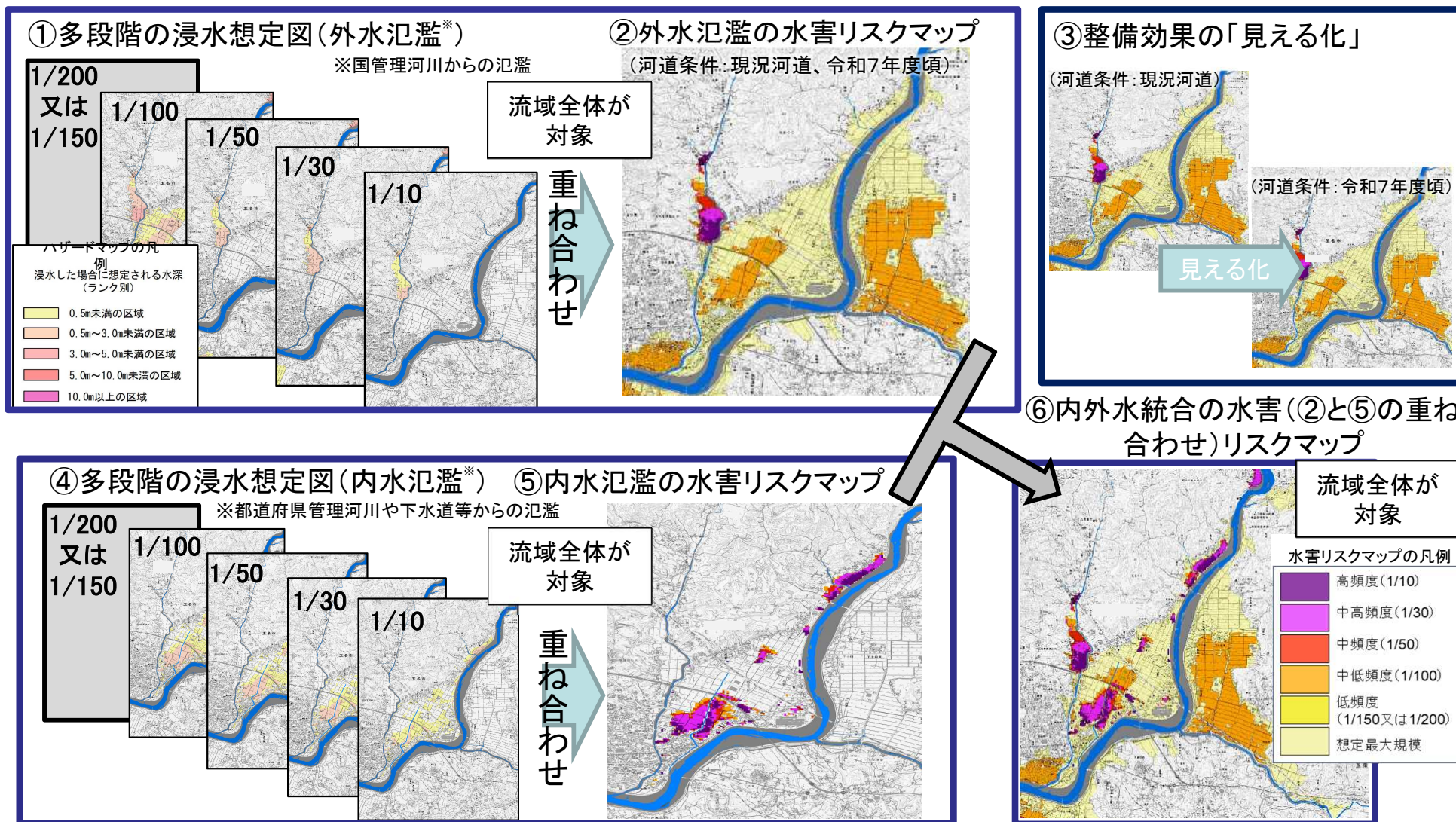


● 自然環境が有する多様な機能活用の取組



水害リスク情報の充実に向け、国管理区間において、先行的に水害リスク情報について検討中。

水害リスク情報の充実 整理イメージ



「流域治水」における主要な各取組に係る進捗状況を見える化し、協議会における取組状況をPR。

イメージ

〇〇川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～〇〇～



氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

写真・イメージ

被害対象を減少させるための対策

写真・イメージ

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

写真・イメージ

	指標	内容	とりまとめ (案)
1	戦後最大洪水等に対応した河川の整備	一級河川における戦後最大洪水等に対応するための築堤等の河川改修を実施する。	一級河川における戦後最大洪水等に対応した河川（国直轄区間）の整備率（概ね5年後）：〇〇%
2	農地・農業用施設の活用	農地・農業用施設を活用し、雨水や氾濫水を貯留し、又は事前に排水し、被害軽減を図る。	〇〇川水系の流域自治体内で農地・農業用施設の活用に取り組んでいる市町村数：〇〇市町村
3	流出抑制対策の実施	校庭貯留や地下貯留などの雨水貯留浸透施設の整備等により、流出抑制対策に取り組む。	〇〇川水系の流域自治体内における雨水貯留浸透施設等の整備数：〇〇施設
4	山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策	治山対策・森林整備の実施により、森林が有する浸透・保水機能等の維持・向上を図る。	〇〇川水系流域で実施される治山対策等の実施個所数：〇〇箇所
		土砂・流木災害対策の実施のため、砂防堰堤や地すべり防止施設等の砂防施設整備を実施する。	〇〇川水系流域で実施される砂防施設の整備により、保全される基礎的な公共インフラ施設数：〇〇施設
5	立地適正化計画における防災指針の作成	水災害リスクを軽減されるため、よりリスクの低い区域への移住、都市機能の誘導や住まい方の工夫等による居住地の安全性強化に取り組む。	〇〇川水系の流域自治体内で立地適正化計画における防災指針の作成に取り組んでいる市町村数：〇〇市町村
6	避難のためのハザード情報の整備	水害リスク情報の空白域を解消するため、中小河川等の浸水想定区域の指定を促進する。	〇〇川水系の中小河川等において洪水浸水想定区域を指定した河川数：〇〇河川
			〇〇川水系の流域において最大クラスの内水に対応した浸水想定区域図を作成した団体数：〇〇団体
7	高齢者等避難の実効性確保	要配慮者利用施設の避難確保計画の作成を促進するなど、市町村と連携して被害の軽減を図る。	〇〇川水系の流域自治体内で避難確保計画を作成し訓練を実施している施設数： 計画作成済み：〇〇施設 うち、訓練の実施：〇〇施設
		避難行動要支援者を対象とした個別避難計画の作成を促進するなど、高齢者の避難の実効性の確保を図る。	〇〇川水系の流域自治体内で個別避難計画（全部作成又は一部作成）を作成している市町村数：〇〇市町村

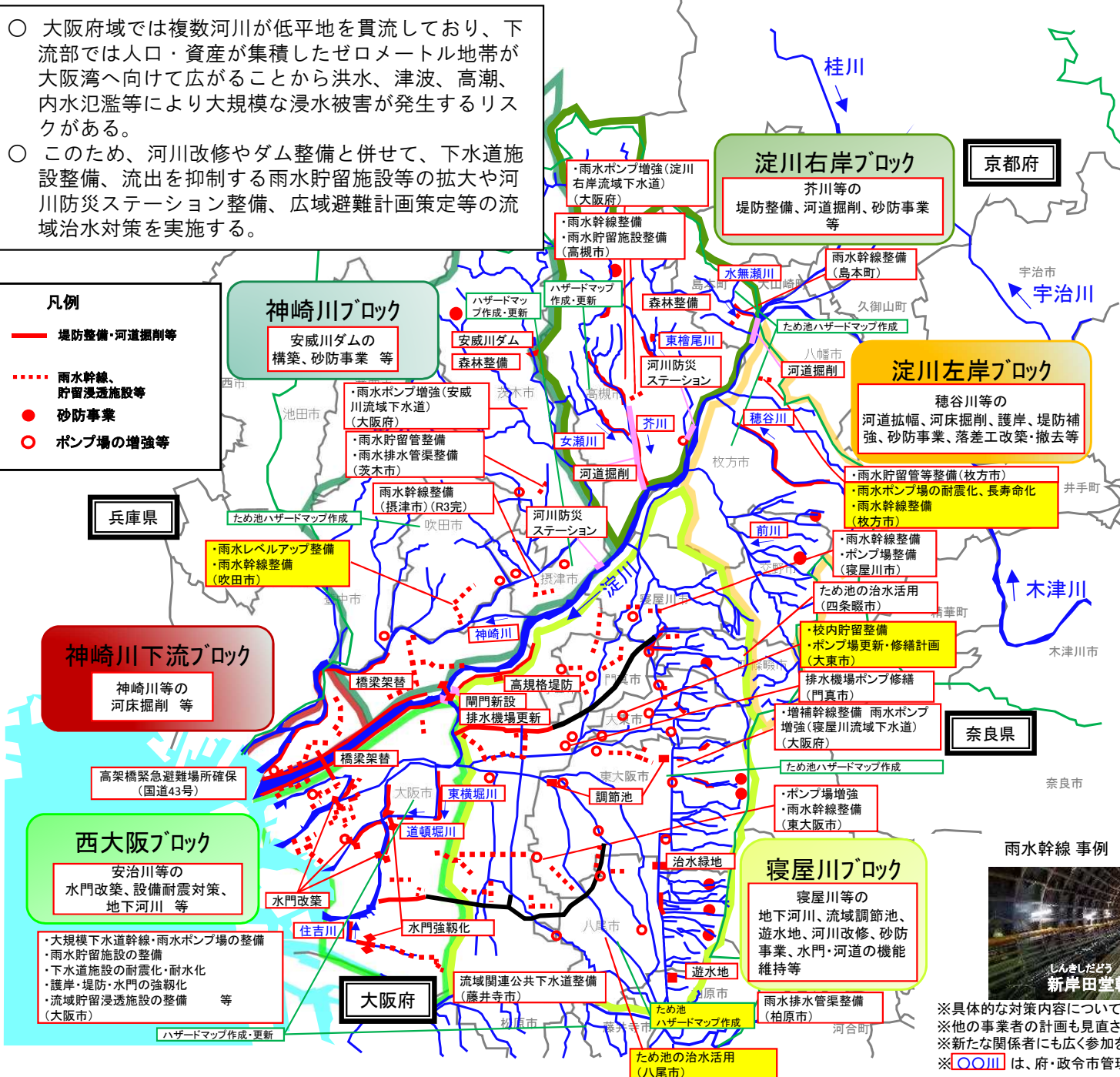
淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【位置図】

(案)

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

- 大阪府域では複数河川が低平地を貫流しており、下流部では人口・資産が集積したゼロメートル地帯が大坂湾へ向けて広がることから洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがある。
- このため、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。

- 凡例**
- 堤防整備・河道掘削等
 - ⋯ 雨水幹線、貯留浸透施設等
 - 砂防事業
 - ポンプ場の増強等



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
- ・高規格堤防整備、築堤、堤防強化
 - ・河道拡幅・掘削、橋梁架替
 - ・護岸、落差工改築・撤去
 - ・砂防事業、森林整備及び保全
 - ・閘門新設、水門改築、施設耐震補強
 - ・河川防災拠点整備、河川防災ステーション整備
 - ・高架橋緊急避難場所確保
 - ・ダム建設、ダムの堆砂除去
 - ・事前放流等の実施・体制構築
 - ・地下河川、流域調節池、遊水地
 - ・下水道等の排水施設整備・改修・修繕・更新
 - ・雨水貯留浸透施設の整備
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への助成
 - ・ため池の治水活用 等

- 被害対象を減少させるための対策**
- ・土地利用誘導
 - ・開発行為に対する流出抑制対策指導 等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
- ・洪水ハザードマップ作成・更新
 - ・ため池ハザードマップ作成
 - ・防災教育・啓発活動等の推進
 - ・要配慮者利用施設における避難計画の策定支援
 - ・タイムラインの作成・運用
 - ・マイ・防災マップ、マイ・タイムラインの作成支援
 - ・VR・AR等を用いた情報発信
 - ・ホットライン構築
 - ・水位計・監視カメラの設置、監視体制の拡充
 - ・広域避難計画策定
 - ・分かりやすい防災気象情報の提供
 - ・ゲリラ豪雨対策アクションプラン策定 等

■ グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ



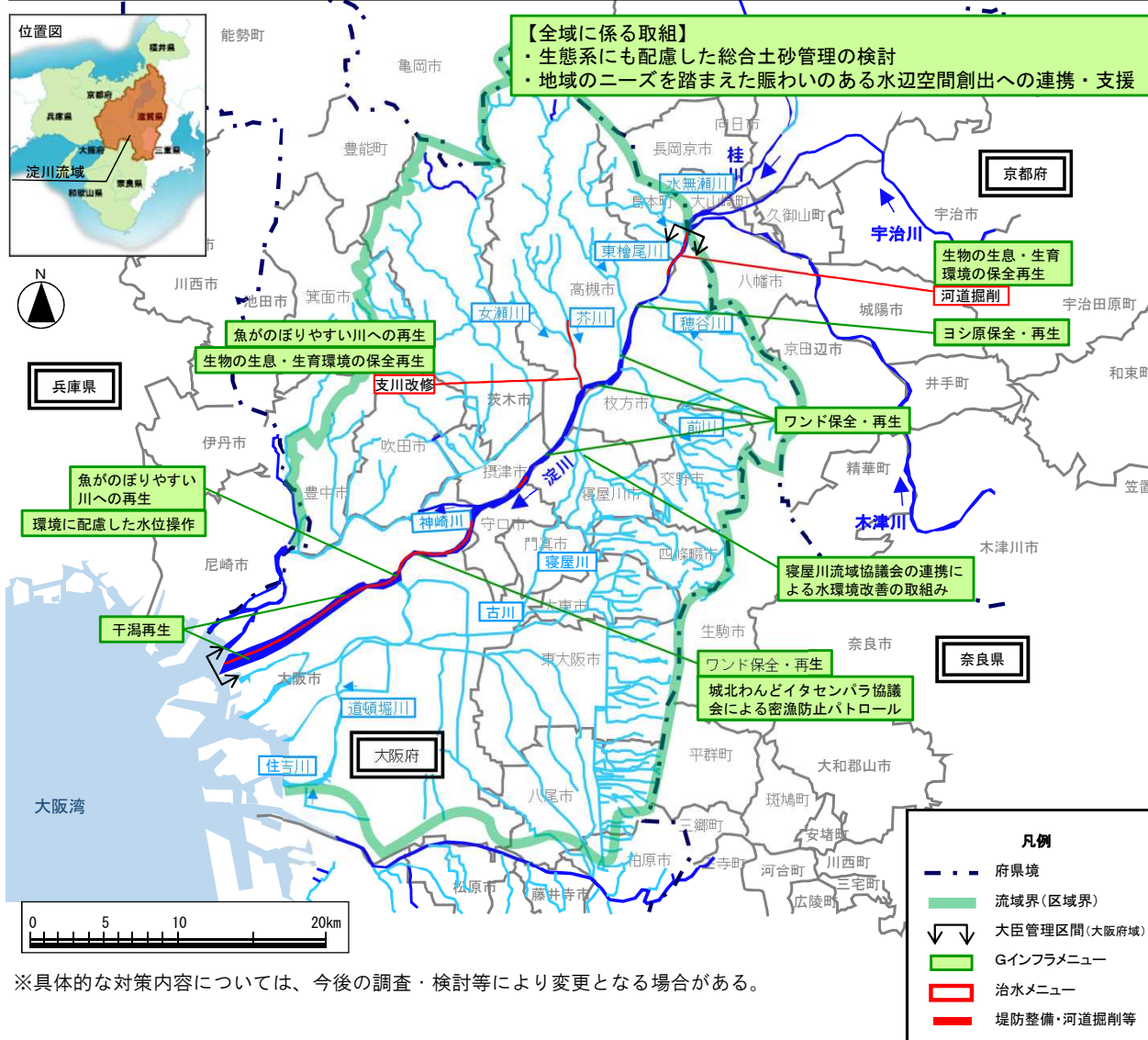
※具体的な対策内容については、主な対策を記載しており、今後の調査・検討により変更となる場合があります。
 ※他の事業者の計画も見直されれば、同様に反映します。
 ※新たな関係者にも広く参加を呼びかけることから、新たな関係者の計画も反映します。
 ※**〇〇川** は、府・政令市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【グリーンインフラ】(案)

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

●グリーンインフラの取り組み 『ワンドなど変化に富んだ多様な生息環境の保全・再生』

- 三川合流点より下流の淀川では、鵜殿に代表されるヨシ原、寄り洲、ワンド・たまりや干潟などの環境に応じて、イタセンパラをはじめとする魚介類、オオヨシキリや猛禽類などの鳥類、塩性植物など、多くの動植物が見られる。こうした次世代に引き継ぐべき多様な生態系を守ろうとする住民活動も活発である。
- 水辺にワンドやたまりが数多く存在し、水位の変動によって冠水・攪乱される区域が広範囲に存在し、変化に富んだ地形と固有種を含む多様な生態系を残すことを目標に、今後概ね20年間でイタセンパラ等の在来種が生息するワンド・たまりを保全・再生するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。



●自然環境の保全・復元などの自然再生
干潟再生、ヨシ原保全・再生、ワンド保全・再生

●治水対策における多自然川づくり
生物の生息・生育環境の保全再生、魚がのぼりやすい川への再生

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全
- ・河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携
- ・小中学校における河川環境学習の実施
- ・住民団体と連携した水生生物調査の実施
- ・城北わんどイタセンパラ協議会による密漁防止パトロール
- ・住民と連携した外来生物駆除
- ・環境に配慮した水位操作
- ・寝屋川流域協議会の連携による水環境改善の取組み

市民ネットワークによる外来魚駆除



ワンドの再生(大塚地区)



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【ロードマップ】 (案)

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

- 淀川（大阪府域）では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、府、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
大阪府域は複数河川が貫流する低平地に形成された高度な都市構造を有し、洪水、津波、高潮、内水氾濫等により大規模な浸水被害が発生するリスクがあることから、河川改修やダム整備と併せて、下水道施設整備、流出を抑制する雨水貯留施設等の拡大や河川防災ステーション整備、広域避難計画策定等の流域治水対策を実施する。
【短期】計画規模洪水を安全に流下させるため、橋梁架替や河道掘削、堤防整備等と併せて、下水道施設整備や貯留浸透施設等の整備を推進する。また、淀川大堰閘門を整備することで災害時の避難や資材運搬など危機管理機能の強化を図る。安威川ダムを完成させることにより、神崎川流域の安全度向上を図る。
【中期】計画規模洪水を安全に流下させるため、阪神なんば線淀川橋梁の架替を完了させるとともに、河道掘削、堤防整備等を推進する。
【長期】大規模な浸水被害から人命や資産を守るため、河道掘削、堤防整備等と併せて流出抑制対策等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。

区分	主な対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	なんば線橋梁架替完成 (淀川河川事務所)	長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁架替 河川防災ステーション	大阪府、大阪市、摂津市 淀川河川事務所	水門強靱化完成(大阪市)	淀川大堰閘門新設完成 (淀川河川事務所)		
	地震・津波、高潮対策、閘門新設	大阪府、大阪市 淀川河川事務所				
	ダム建設	大阪府、淀川ダム統合管理事務所、琵琶湖河川事務所、大戸川ダム工事事務所、水資源機構	川上ダム完成 (水資源機構)	安威川ダム完成 (大阪府)	天ヶ瀬ダム再開発完成 (琵琶湖河川事務所)	3大水門改築完成 (大阪府)
	砂防事業、森林整備・保全	大阪府、高槻市、枚方市				
	雨水貯留浸透施設、雨水幹線整備、 下水道施設増強、耐水化	大阪府、大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、 茨木市、寝屋川市、柏原市、藤井寺市、東大阪 市、島本町、四條畷市、大東市、八尾市 等	高宮ポンプ場整備完成 (寝屋川市)		大隅十八条幹線・此花下水処理場ポンプ場完成(大阪市)・ 中ノ島・片山工区雨水レベルアップ整備完成(吹田市)・ JR高槻駅北雨水貯留施設整備完成(高槻市)	楠葉排水区雨水貯留管等整備完成(枚方市) 新岸田堂幹線完成(東大阪市)
	排水施設整備、改修、修繕、更新	大阪府、大阪市、高槻市、枚方市、寝屋川 市、門真市、東大阪市、大東市 等	居住誘導区域見直し及び防災指針策定 (高槻市・八尾市)(R3完)		門真守口増補幹線完成(大阪府) 合流管渠整備(柏原西排水区)完成(柏原市) 山崎雨水幹線完成(島本町)	
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画・居住誘導	高槻市、枚方市、八尾市 等				
	家屋の耐水化啓発	高槻市 等		要配慮者利用施設の 避難確保計画策定 (枚方市内の施設)		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	避難確保計画策定支援	大阪市、高槻市、枚方市、摂津市 等				
	ハザードマップ作成、防災教育、避難訓練 等	大阪市、吹田市、高槻市、枚方市、摂津市、 藤井寺市、東大阪市、島本町、八尾市 等		SOS避難メソッド等を掲載した 防災ブック作成 (摂津市)(R3完)	多機関連携型タイムライン(淀川広域)の策定・コミュニティタイムラインの策定支援(高槻市)	
	防災気象情報の改善	大阪管区気象台				
	広域アクションプラン(ゲリラ豪雨対策)	環境省、大阪府 等				
グリーンインフラの取組	※詳細は次ページ			アクションプラン策定		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川(大阪府域)分会【ロードマップ】 (案)

～ 滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	長期
グリーンインフラの取組	干潟再生	近畿地方整備局	試験施工		
	ヨシ原保全・再生	近畿地方整備局	ヨシ原保全・再生		
	ワンド保全・再生	近畿地方整備局	ワンド保全・再生		
	生物の生息・生育環境の保全再生	近畿地方整備局	生物の生息・生育環境の保全再生		
	魚がのぼりやすい川への再生	近畿地方整備局	魚がのぼりやすい川への再生		
	淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全	近畿地方整備局	淀川環境委員会の提案をふまえた河川環境の整備と保全		
	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携	近畿地方整備局	河川レンジャー制度による環境学習、動植物保護活動との連携		
	小中学校における河川環境学習の実施	近畿地方整備局	小中学校における河川環境学習の実施		
	住民団体と連携した水生生物調査の実施	近畿地方整備局	住民団体と連携した水生生物調査の実施		
	城北わんどイタセンパラ協議会による密漁防止パトロール	近畿地方整備局	城北わんどイタセンパラ協議会による密漁防止パトロール		
	住民と連携した外来生物駆除	近畿地方整備局	住民と連携した外来生物駆除		
	環境に配慮した水位操作	近畿地方整備局	環境に配慮した水位操作		
	寝屋川流域協議会の連携による水環境改善の取組み	近畿地方整備局	R3計画策定		

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

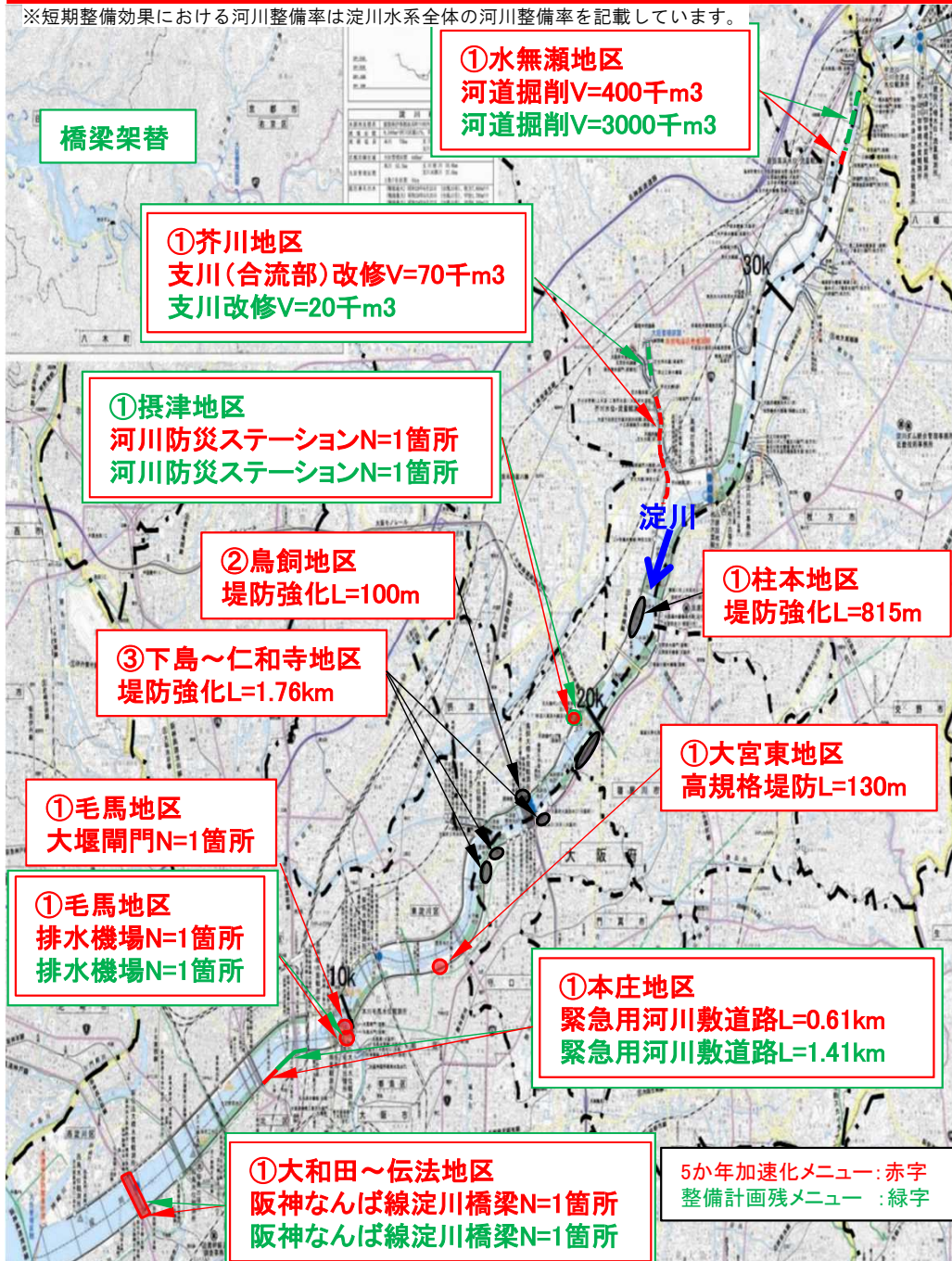
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

淀川水系流域治水プロジェクト 淀川（大阪府域）分会【事業効果（国直轄区間）の見える化】（案）

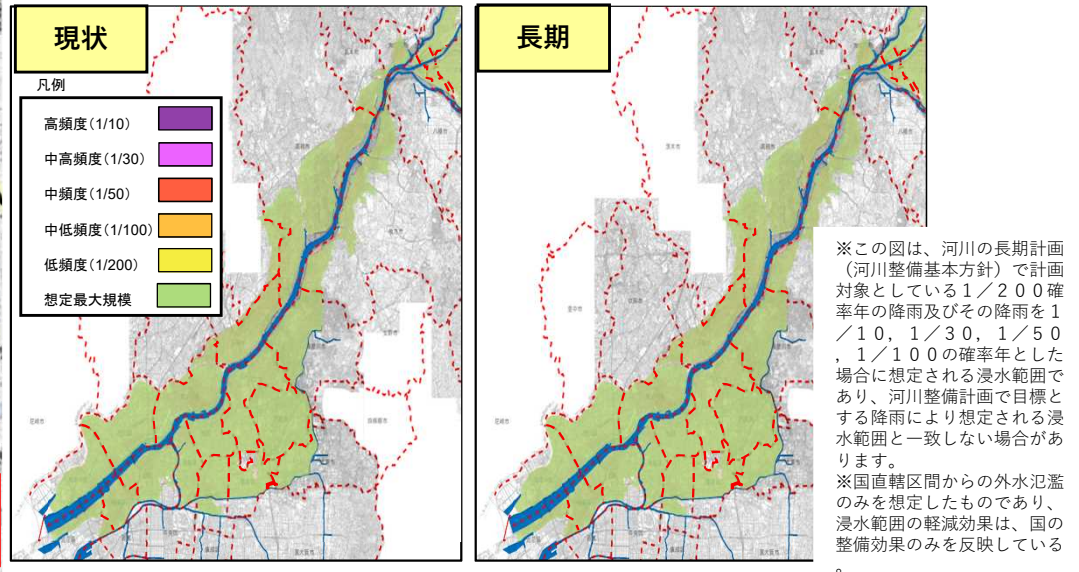
～ 滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

短期整備（5カ年加速化対策）効果 : 河川整備率 約68%→約77%

※短期整備効果における河川整備率は淀川水系全体の河川整備率を記載しています。



淀川大堰閘門整備を大阪・関西万博(R7)前のR6までに完了させることで、防災力を向上させるとともに、舟運により地域振興に寄与。



区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R2-R7年)	中期 (R8-R15年)	長期 (R16-R34年)
関連事業			R3		
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	①水無瀬地区	2%		100%
	支川改修	①芥川地区	30%	100%	
	堤防強化	①柱本地区	100%		
		②鳥飼地区	100%		
		③下島～仁和寺地区	100%		
	河川防災ステーション	①摂津地区	50%	100%	
	高規格堤防	①大宮東地区	100%		
	大堰閘門	①毛馬地区	100%		
	排水機場	①毛馬地区	8%		100%
	緊急用河川敷道路	①本庄地区	30%	100%	
阪神なんば線橋梁	①大和田～伝法地区	60%		100%	
橋梁架替				100%	

【短期整備完了時の進捗】
河道掘削
①水無瀬地区 2%
支川改修
①芥川地区 30%
河川防災ステーション
①摂津地区 60%
高規格堤防
①大宮東地区 100%
大堰閘門
①毛馬地区 100%
排水機場
①毛馬地区 8%
緊急用河川敷道路
①本庄地区 30%
阪神なんば線橋梁
①大和田～伝法地区 60%

※スケジュールは、今後の事業進捗によって変更となる場合があります。

淀川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

(案)

～滯輝く関西経済圏を支える流域対策～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備率（見込）



整備率：77%
(概ね5か年後)

農地・農業用施設の活用



43市町村
(令和3年度末時点)

流出抑制対策の実施



集計中
(令和2年度実施分)

山地の保水機能向上、土砂・流木災害対策



治山対策の実施箇所 66箇所
(令和3年度実施分)
集計中

立地適正化計画における防災指針の作成



0市町村
(令和3年12月末時点)

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定区域 218河川
(令和3年12月末時点)
内水浸水想定区域 7団体
(令和3年11月末時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画 洪水 10,934施設
土砂 751施設
(令和3年9月末時点)
集計中

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

河川・下水道などにおける対策(寝屋川流域)

河川、下水道等が一体となった治水対策を実施しており、地下河川、下水道増補幹線、遊水池、調整池等の整備を推進。

【令和3年度の主な実績】

- ・寝屋川北部地下河川 城北立坑築造
- ・恩智川(法善寺)多目的遊水池 池床掘削、越流堤築造
- ・布施公園調節池 土留工完了、本體工着手
- ・加納元町調節池 I期発進立坑築造
- ・門真守口増補幹線 シールド工
- ・新岸田堂幹線 シールド工(東大阪市施工)
- ・流域貯留浸透施設の整備(4市4校2公園)
- ・ため池の治水活用(八尾市)



寝屋川北部地下河川 城北立坑築造工事



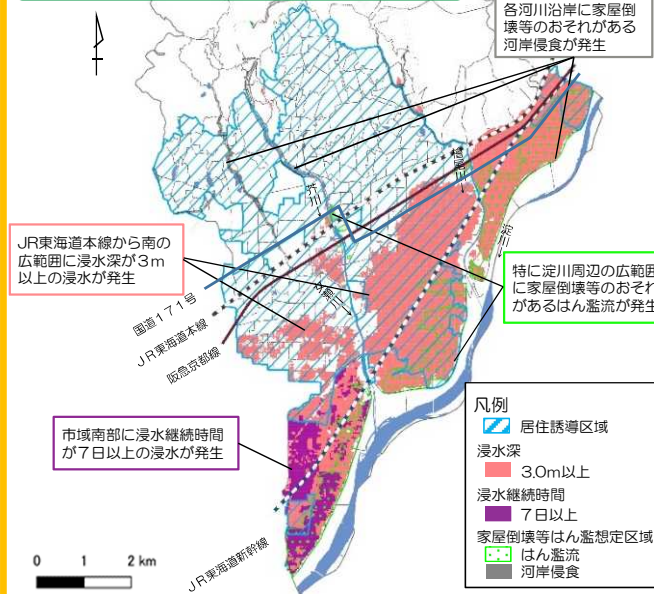
加納元町調節池(I期) <大阪府>

被害対象を減少させるための対策

居住誘導区域見直し及び防災指針の策定

平成29年3月に策定した高槻市立地適正化計画の居住誘導区域は災害リスクを踏まえ設定しているが、昨今の頻発化・激甚化する自然災害への対応や法改正の主旨を踏まえ、水害リスクについて、居住誘導区域を見直すとともに、防災指針を追加する変更を行う。

想定最大規模降雨時に発生が想定されるリスク



<高槻市>

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

まるごとまちごとハザードマップの増設

平成30年3月に阪急水無瀬駅に設置したまるごとまちごとハザードマップを令和2年11月にJR島本駅、町立第三小学校、同第四小学校、同第一中学校に増設。



浸水深4.6m第四小学校正門



浸水深2.2mJR島本駅東口



<島本町>

※指標の数値は集計中のため変更の可能性があります。
※淀川水系全体の指標の数値を記載しています。 13